

工作実習 II(Workshop Practice II)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当	
機械電気	必修	2年	2	演習	伊藤 尚	
【授業の概要】 技術に関する専門教科の習得と並行に、または先取りして物を扱い、製作することの体験から、更に高度な技術や理論の理解を探る。						
【授業の進め方】 塑性加工、溶接、切削加工、NC加工、精密測定および電気・電子制御機器の製作に関する分野の工作技術を体得するために、8名程度のグループで各5週ずつの実習を行い、その結果をレポートとして提出させる。						
【授業の概要】						
【年間スケジュール】						
シーケンス制御 概要 自己保持回路 タイマー命令1 タイマー命令2 カウンター命令						
電子回路 概要 CADによるパターンの作成 基盤の作成 穴あけ、ハンダ付け 検査およびプログラミング						
溶接 アーク溶接概要 突き合わせ継ぎ手の溶接法 T型継ぎ手の溶接法 溶接による収縮と変形 TIG溶接 スポット溶接						
マシニングセンタ 概要 工具補正 プログラミング 機械操作 例題の加工 CAD/CAM						
ワイヤカット放電および旋削加工 概要 プログラミング 例題の加工 旋盤操作 ローラー製作						
【到達目標】	実習作業を通して協調性・責任感・勤労精神など技術者として望まれる態度や習慣を身につける。災害防止と安全の心得を体得する。					
【徳山高専学習・教育目標】	B1		【JABEE基準1(1)】			
【評価法】	学年末評価は、毎回のレポートおよび実習態度で評価する。その比率は50:50とする。レポート提出期限は実習後2日以内とし、期限に遅れた場合は大幅に減点する。また、全レポート中、一つでも提出のない場合があれば不可とする。					
【テキスト】	教科書：徳丸芳男 他「機械実習1、2(三訂版)」(実教出版)					
【関連科目】	工作実習I(1年)、創造製作(2、4年)、コンピュータ制御(3年)、機械の基礎(1年)、電気の基礎(1年)					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】